

【代表的な研究テーマ】

□ 園芸作物の高品質化・ブランド化に関する研究

□ 園芸と民藝の融合

Keyword：くだもの、栽培、6次産業化、コミュニティデザイン、文理融合

研究の概要

地域の素材を使って農業を活性化しよう！

2016年10月に静岡大学に「園芸イノベーション学研究室」という新しい研究室を立ち上げました。

前任地の弘前大学では大学で育成した果肉の赤いリンゴ「紅の夢（くれないのゆめ）」などの栽培学的な研究や地域の生産者、中小企業、行政と一体となったブランド化の事業に取り組んできました。

消費者が多くの情報を仕入れられるようになり、生産者とのコミュニケーションや素材そのものが生まれるストーリーが大切な時代になってきたと感じています。生産者や地域の企業が持つくだもの、野菜、花などの園芸作物素材をブランド化し、売り出していくお手伝いを、園芸学の立場から行います。

具体的には、高品質な園芸作物を栽培するための栽培技術、ブランド化していくうえで必要となる生産物の特徴、機能性、加工特性などの解析を皆さんとともに行っていきます。



アピールポイント

・特筆すべき研究ポイント：

「園芸作物の栽培」という園芸科学の基本を踏まえ、科学的根拠をもとにしたブランド化戦略を取ります。基礎から応用、理系から文系まであらゆる分野を融合したマネジメントを行います。

特定の作物の研究にこだわるのではなく、地域に存在する（あるいはこれから栽培し始める）園芸作物を対象にした高品質化、ブランド化研究を柔軟に行っていきます。



松本 和浩

学術院農学領域
生物資源科学系
准教授

■ 相談に応じられる関連分野

- ・ 果物の栽培や貯蔵、加工に関すること
- ・ 農業廃棄物のリサイクル、堆肥化などエコロジーに関すること
- ・ 園芸作物を利用した地域再生などコミュニティデザインに関すること
- ・ 発展途上国への技術支援など国際協力に関すること
- ・ 園芸作物の品種登録に関すること
- ・ ハナショウブの保護や活用に関すること
- ・ 落葉果樹の樹体管理や剪定に関すること



■ その他の社会連携活動

地域における活動については適宜、Facebookで公開しておりますので、ご興味のある方はそちらをご覧ください。